

1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「一般的な禁止」事項を示しています。

「分解禁止」事項を示しています。

「水ぬれ禁止」事項を示しています。

「必ず行う」事項を示しています。

4. 免責事項

- つぎのような場合には、保証期間内でも点検・修理は有料になります。
- (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造、分解による故障および損傷。
 - (2) お取り付け後の取り付け場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (3) 火災、爆発、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性などの有害ガス、ホコリ、異常気象、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・くも・昆虫類などの侵入およびその他天災地災または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - (4) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
 - (5) 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、鍍金など設計仕様の範囲内の外観上の現象。
 - (6) 取付説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計、取付工事、取扱いが原因で生じた不具合、故障および損傷。
 - (7) 一般家庭用以外（例えば、業務用、工業用）にご使用になられた場合。
 - (8) 過度な頻度で警報器を点検している場合。
 - (9) 警報器に故障、異常が認められない場合。
 - (10) 本書および「警報器登録票」または「リース契約書」のご提示がない場合。
 - (11) 「警報器登録票」または「リース契約書」にお取り付け年月、販売店（リース取扱店）名の記入がない場合、あるいは販売店（リース取扱店）の訂正印なしで、字句を書き換えられた場合。
 - (12) 使用場所が当社のガス供給区域外の場合。（出張料を別途頂きます。）

5. お客さまへ

- (1) アフターサービスについてご不明の場合は、販売店（リース取扱店）もしくは最寄りの大阪ガスお客さまセンターへお問い合わせください。
- (2) 「警報器登録票」または「リース契約書」に販売店（リース取扱店）名のないものについては無効となりますのでご購入時にご確認ください。
- (3) 本書および「警報器登録票」または「リース契約書」は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- (4) ご転居の場合はご贈答品などで「警報器登録票」または「リース契約書」に記載している販売店（リース取扱店）に点検・修理をご依頼できない場合は最寄りの大阪ガスお客さまセンターへご連絡ください。
- (5) 保証期間内に無料修理した場合であっても、保証期間は当初の保証期間となります。
- (6) 修理ができないと判断した場合に、無料交換をさせていただきます。無料交換の際は、機器の仕様、外観、取付方法を変更させていただく場合があります。
- (7) 本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
- (8) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

6. 保証者

住所 大阪市中央区平野町 4-1-2
Tel フリーダイヤル 0120-00-94817（お客さまセンター）
会社名 大阪ガス株式会社

2. 使用上のご注意

- この火災警報器は煙を感じて警報しますが、次のような場合は煙を感じできないことがあります。また、室内の空気の流れなどにより、煙感知部に煙が到達しなれば警報しません。
 - ・火のまわりの早い火災
 - ・爆発的な火災
 - ・電気火災、薬品火災
 - ・煙の発生が少ない火災
- この火災警報器は、火災で発生する煙以外の事象（熱、可燃性ガスの発生、一酸化炭素ガスの発生）は感知できません（ガスもれ、不完全燃焼を感知する機能はありません）。
- 次のような場合は警報音が聞こえないことがあります。
 - ・疲労、風邪薬などの服用、飲酒などによる、眠りの深い就寝中
 - ・警報器設置場所と人のいる場所の間に音の障壁（扉など）がある場合
 - ・周囲の騒音（交通、オーディオ、エアコンなど）が大きい場合
 - ・その他、聴力が弱くなっている場合など
- この火災警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備に該当しないため、それらの用途では使用できません。
- 使用温度範囲外での使用や、ホコリなどが多い場所に取り付けたとき、頻繁に点検された場合、長時間音声警報を鳴らされた場合などは電池消費が早くなり、交換期限前に電池切れ警告する場合があります。

3. 各部のなまえとはたらき

- **スピーカー**
火災による煙を感じると、警報音が鳴ります。
- **交換期限**
警報器の交換期限が表示されています。
- **煙感知部**
煙を感じます。火災などにより、警報器周囲の煙が一定濃度以上になると、警報を発します。
- **ランプ（赤色・緑色）**
火災による煙を感じると、赤ランプが点滅します。電池切れや故障しているときは、緑ランプが10秒おきに1回または3回点滅します。
- **スイッチ**
警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。
- **電池カバー**
付属の電池を取り付け、収納します。
※電池の取り付け方法は、取付説明書を参照してください。
- **外部出力端子**
- **引きひも（約70cm）**
警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。引きひもは、使用しない場合に取り外したり、使用しやすい長さにカットして使用できます。

4. 取付位置について

- この警報器は、以下のような場所への設置をおすすめします。居室、寝室、階段、廊下
〔台所には、火災の熱、ガスもれ、不完全燃焼の3つが感知できる「火災警報機能付・ガス警報器びこびこ」をお使いください。〕

※設置および維持基準は、政省令で定める基準にしたがい、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

- 警報器のスイッチ（点検、警報音停止兼用）が操作しやすい位置に取り付けてください。

- 壁面に取り付ける場合は、煙感知部の中心が天井面下15cmから50cmまでの範囲にくるように取り付けてください。

- 天井面に取り付ける場合は、壁やはりから60cm以上離れた位置に取り付けてください。

- 換気口など、空気の出口から1.5m以上離してください。

- 壁面に取り付ける場合は、できるかぎりたれ壁やはりから60cm以上離してください。

- 壁面に取り付ける場合は、できるかぎりたれ壁やはりから60cm以上離してください。

- 壁面に取り付ける場合は、できるかぎりたれ壁やはりから60cm以上離してください。

取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、警報器を取り付けしないでください。誤作動や故障、または感知が遅れる原因となります。

- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつかう場所。感温や電気故障の原因になります。

- 温度が0℃～+40℃の範囲をこえる場所。警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。

- タンスなどから60cm以内の場所。

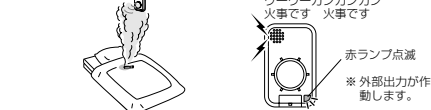
- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。

- カーテンウォールなどで仕切られた場所。警報が遅れます。

- 屋外・屋側。屋外・屋側用ではありません。

5. お知らせ機能について

火災による煙が発生したときは
警報器周囲の煙が一定濃度以上になると作動します。



電池切れのときは

電池の電圧が低下すると、緑ランプが10秒おきに1回点滅し、約1分おきに「ビッ」音が鳴ります。スイッチを押すと、「ビッ」電池切れです。販売店に連絡してください。緑ランプ10秒おきに1回点滅 ※外部出力は作動しません。

故障しているときは

故障していると、緑ランプが10秒おきに3回点滅し、約1分おきに「ビッビッビッ」音が鳴ります。スイッチを押すと、「ビッビッビッ」故障です。販売店に連絡してください。緑ランプ10秒おきに3回点滅 ※外部出力は作動しません。

※電池切れ表示中または故障表示中であっても、煙を感じた場合、火災警報が可能であれば火災警報を発します。※36時間の停止中にスイッチを押すと、お知らせの音声を発しますが36時間のタイマーはリセットされません。※36時間を経過すると、再度緑ランプが点滅し「ビッ」音（または「ビッビッビッ」音）が鳴ります。

〈自動試験機能〉

電池切れまたは故障した場合、自動的に感知し、お知らせする自動試験機能を備えています。

おねがい

自動試験機能では、すべての故障は感知できません。緑ランプが点滅しなくても1ヶ月に1回程度の点検を行ってください。

〈警報履歴確認機能〉

機器が正常に作動しているときに、定期点検時から10日間以内の火災警報または電池切れ・故障があった場合、履歴を表示する機能を備えています。「ビッ、正常です。ピー」の後に、以下の表示をします。
●火災警報があった場合、赤ランプが約1秒間点灯します。
●電池切れ・故障があった場合、緑ランプが約1秒間点灯します。

〈交換期限切れ警告機能〉

機器交換期限を過ぎて長期間使用を続けた場合、定期点検時に交換期限切れ警告音声「交換期限を過ぎています 販売店に連絡してください」を発する機能を備えています。

おねがい

交換期限を過ぎた警報器は、電池切れなどにより正常な動作をしないおそれがあります。新しい警報器とお取り替えください。

6. 警報音が鳴ったときの処置のしかた

「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」と鳴ったときの処置のしかた
〔赤（火災警報）ランプが点滅〕

危険

警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難する。

119番への通報
初期消火

火元を確認し、119番へ通報するなどの適切な処置をしてください。

警報器周囲の煙が一定濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤（火災警報）ランプが消灯します。

火災以外で警報音が鳴ったときの処置のしかた

火災警報音を止めたいとき

スイッチを押してください。引きひもがあるときは、引きひもを引いてください。約5分間警報音が止まります。※外部出力も停止します。

※火災警報を停止してから5分後、煙感知部が煙を感じている場合は、再度火災警報音が鳴り、赤ランプが点滅します。

※止まっている間に、火災警報動作原因を取り除けば、火災警報は止まります。

警報音が鳴った原因について

火災以外でも次のような場合には、火災警報動作することがあります。

- スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーが警報器に直接かかったとき。
- タバコの煙を警報器に吹きかけたとき。
- 調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。
- くん煙式殺虫剤などの煙殺虫剤を使用したとき。
- 湯気が直接かかったとき。
- 警報器が結露したとき。
- 砂、ホコリ、虫などが警報器の煙感知部に侵入したとき。

7. 定期点検

正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度定期点検を行ってください。
(1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。)

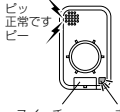
動作機能を確認する

1 火災警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。

テスト機能を使って確認する

2 スイッチを押す(約1秒)、または引きひもを引く(約1秒)。

- 「ピッ、正常です。ピー」が1回鳴り、赤ランプが1回点滅すれば正常です。
- 外部出力は作動しません。



スイッチ 赤ランプ点滅

火災警報音を鳴らして確認する

2 スイッチを約3秒間長押しする。または引きひもを約3秒間引く。

- 火災警報音「ウーウーカンカンカン、火事です。火事です。」が鳴り、赤ランプが連続点滅すれば正常です。
- 外部出力が作動します。
- 約1分経過すると、赤ランプが消灯して自動的に終了します。
- ※1分以内に終了した場合は、スイッチを押さか引きひもを引くと、赤ランプが消灯して終了します。

◆下記の異常などがなければ確認できます。
●煙感知部の異常 ●電源異常 ●スピーカーの異常

〈正常に作動しない場合は〉
故障警音音や交換期限切れ警告音声が鳴ったり、火災警報音が鳴らない場合は、販売店(リース取扱店)もしくは最寄りの大阪ガスお客さまセンターにご連絡ください。

故障状態では煙を感知できず、火災警報動作をしない場合があります。

■くるびこ・アイルス®との連動動作を点検する場合

くるびこ・アイルスを安全にご利用いただくために、1カ月に1回連動動作の点検を実施してください。

スイッチを約3秒間長押しする(または引きひもを約3秒間引く)。

赤ランプが連続点滅すると同時に、火災警報音「ウーウーカンカンカン、火事です。火事です。」が鳴り、くるびこ・アイルス本体が連動動作した後、OSS 監視センターから電話連絡がある。

いいえ

はい

火災警報器の外部出力異常か、信号線の異常またはくるびこ・アイルス本体の異常が考えられます。OSS 監視センターにご連絡ください。

正常です。もう一度スイッチを押さか引きひもを引くと、赤ランプが消灯して終了します。

※くるびこまたは大阪ガス(株)、アイルスは大阪ガスセキュリティサービス(株)(OSS)のサービスです。「けむびこ」との接続には、くるびこまたはアイルスに別途ご加入いただく必要があります。くるびこ・アイルスとの連動により「火災警報番号」をOSS 監視センターへ通報することができます。

■くるびこ・アイルス以外の外部機器との連動動作を点検する場合


- スイッチを約3秒間長押ししてください。または引きひもを約3秒間引いてください。
- 赤ランプが連続点滅すると同時に、火災警報音「ウーウーカンカンカン、火事です。火事です。」が鳴り、外部機器が連動動作すれば正常です。
- 接続機器の鳴動時間などは接続機器側の説明書を参照してください。

8. お手入れのしかた

煙感知部の網にホコリやくもの巣がつくと、正しく感知しない場合があります。警報器がより良い状態で動作するようにお手入れをお願いします。

1 警報器を取り外す。
(「9. 警報器の取り外し・取り付けかた」参照)

2 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。



水または石けん水


布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからふき取ってください。

このとき、煙感知部の網にふれないように、注意してください。

おまけ

●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

●お手入れするときは、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面を傷めることがあります。

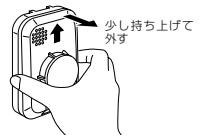


9. 警報器の取り外し・取り付けかた

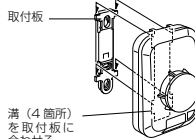
■壁面に取付けた場合

取り外しかた

取り付けかた



少し持ち上げて外す



取付板

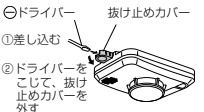
溝(4箇所)を取付板に合わせる

※取付ねじ1本で取り付けた場合は、取付説明書の「4-1」を参照してください。

■天井面に取付けた場合


取り外しかた

取り付けかた



①差し込む

②ドライバーをこじて、抜け止めカバーを外す



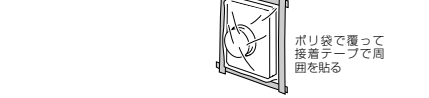
取付板

①溝(4箇所)を取付板に合わせて、警報器を取り付ける

②抜け止めカバーを取り付ける

10. 噴霧式殺虫剤を使用するときは

殺虫剤(くん煙式殺虫剤、加熱蒸散式殺虫剤なども含む)を使用する際は、誤作動のおそれがありますので、警報器を取り外すかポリ袋で覆ってください。噴霧が終わったら、換気後、必ず元の位置に戻してください。また、ポリ袋で覆った場合はポリ袋を取り除いてください。



11. 異常時の点検・処置

修理・サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。

下記の点検・処置をしても異常があるときは、販売店(リース取扱店)もしくは最寄りの大阪ガスお客さまセンターにご連絡ください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災ではないのに火災警報動作する。	調理の煙、浴室からの湯気などが警報器にかかっていますか？	室内を換気してください。頻繁に警報する場合は、取付場所の問題がある可能性があります。販売店にご連絡ください。
火災警報動作が止まらない。	—	煙感知部内部にうちわ、ドライヤー(冷風)などで風を送り、砂やホコリ、虫などを取り除いてください。それでも止まらない場合は専用リチウム電池を抜き、販売店にご連絡ください。
約10秒間隔で緑ランプが点滅する。約1分間隔で「ピッ」音または「ビッビッビッ」音が鳴る。	スイッチを押したとき、「ピッ 電池切れです 販売店に連絡してください」のメッセージが鳴りませんか？	電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。
スイッチを押したとき、「ピッピッピッ」故障です。販売店に連絡してください」のメッセージが鳴りませんか？	スイッチを押したとき、「ビッビッピッ」故障です。販売店に連絡してください」のメッセージが鳴りませんか？	警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
スイッチを押したとき、引きひもを引いても動かない。	引きひもが正しく取り付けられていますか？	取付説明書の「4-3」を参照し、正しく取り付けてください。
電池が正しく取り付けられていますか？	電池が正しく取り付けられていますか？	電池コネクタを確実に接続してください。(それでも動作しない場合は、販売店にご連絡ください。)
電池が切れていませんか？(電池切れ表示をしていました)	—	販売店にご連絡ください。
定期点検時に「交換期限を過ぎています 販売店に連絡してください」が鳴る。	交換期限を過ぎていませんか？警報器本体の交換期限ラベルを確認してください。	交換期限を過ぎている場合は、販売店にご連絡ください。
火災警報器が火災警報動作をしているのにテープなどを巻いてください。	—	警報器の外部出力異常か、信号線の異常です。販売店にご連絡ください。
接続機器が火災警報動作をしない。	—	接続機器の異常です。(接続機器に付属の説明書を参照)

12. アフターサービス

この火災警報器の保証期間は、お買い上げ日から5年です(尚、リース契約の場合は、この限りではありません。リース契約書にて、ご確認ください)。保証書内容をよくお読みの後、お買い上げ店、お買い上げ日が記載されている「警報器登録票」または「リース契約書」とともに大切に保管してください。保証期間経過後の故障、電池切れについては、無料修理できず、有料での本体交換となります。要する費用は全てお客さまの負担とさせていただきます。

アフターサービスについてご不明な点がある場合や、引っ越しやお部屋の模様替えなどで火災警報器を移動される場合は、販売店(リース取扱店)または、最寄りの大阪ガスお客さまセンターまでご連絡ください。

13. 機器交換期限

この火災警報器の交換期限は10年です。警報器本体には、交換期限を西暦と月で記入しています。ご購入時、お取り付け時にご確認ください。交換期限を過ぎて長期間使用を続けるときは、定期点検時に交換期限切れ警告音を発するようになります。交換期限を過ぎたものは、電池切れなどにより正常な作動をしないおそれがありますので、新しい警報器とお取り替えください。交換期限は保証期間とは異なり、交換期限内であっても保証期間を過ぎている場合は、無料修理はできませんのでご注意ください(リース契約の場合を除く)。

■廃棄について

- 交換期限が過ぎた火災警報器は、販売店(リース取扱店)にて回収いたします。
- 販売店の店頭でも回収しております。

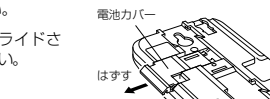
火災警報器をお客さまで廃棄される場合(リース品を除く)

- お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。
- ※必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

この警報器は専用リチウム電池を内蔵しています。

警報器本体を取り外し、以下の要領で専用リチウム電池を取り出してください。

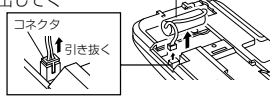
①電池カバーをスライドさせて外してください。



電池カバー

はずす

②電池のコネクタを引き抜き、電池を取り出してください。



コネクタ

引き抜く

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。

リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあり、ケガをしたり、火災に至る恐れがあります。

警告

14. 登録

この火災警報器は、コンピュータに登録して管理させていただきます。登録は取り付け時またはガスの開栓時に行い、登録済みの火災警報器には交換期限を西暦と月で記入していますのでご確認ください。

また、交換期限の記入がない警報器は、未登録の場合がありますので、販売店(リース取扱店)または、最寄りの大阪ガスお客さまセンターまでご連絡ください。交換期限が満了する約1ヶ月前に、登録されている警報器については、当社よりお知らせします。交換期限を過ぎたものは、新しい警報器にお取り替えください。

15. 仕様

機器コード	(4) 102-0012 型
型名	住宅用火災警報器
鑑定型式番号	警住第20-18号
電源	専用リチウム電池 (CR-AGB/C23P、CR17450E-R-CN26) (DC3V) × 1コ
機器交換期限	10年(電池寿命 約10年※)
感知対象	火災の煙
感知方式	煙式(光電式)
種類	2種
警報音	「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」
電池切れ警告音	1分おきに「ピッ」音、スイッチを押すと「ピッ 電池切れです 販売店に連絡してください」
故障警音	1分おきに「ビッビッピッ」音、スイッチを押すと「ビッビッピッ 故障です 販売店に連絡してください」
交換期限切れ警告音	スイッチを押すと「交換期限を過ぎています 販売店に連絡してください」
火災警報音音量	70dB (A) / m以上(鑑定基準)
寸法	幅約80mm X 高さ約129mm X 奥行き約33mm
質量	約130g(専用リチウム電池含む)
使用周囲温度	0℃～+40℃
設置場所	壁面・天井面
外部出力	無電圧a接点 (DC30V、100mA以下)・有極性

※10年間の寿命を保証するものではありません。温度、湿度、ホコリの量などの使用環境や点検回数(火災警報回数)などのご使用条件によって短くなる場合があります。お買い上げ後10年以内であっても保証期間を過ぎている場合の電池切れは、無料修理できませんのでご注意ください。

火事発見時は最寄りの消防署へ通報してください。(電話119)

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪リビング営業部

南部リビング営業部

北東部リビング営業部

兵庫リビング営業部

京滋リビング営業部

＜お客さまセンター＞

550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 ☎ 0120 (0) 94817

590-0973 堺市堺区住吉橋町2-2-19 ☎ 0120 (3) 94817

569-8569 高槻市藤の里町39-6 ☎ 0120 (5) 94817

650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-2 ☎ 0120 (7) 94817

600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93 ☎ 0120 (8) 94817

※受付時間は、平日9:00～19:00、日祝日9:00～17:00となっております。
※お電話のおかけ間違いのないようお願いいたします。
※所在地・電話番号などに変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。

大阪ガス

住宅用・煙式 火災警報器 けむびこ®

型番 (4)102-0012 型

取扱説明書

一般家庭用 屋内専用

●お買い上げありがとうございます。
●ご使用前に必ずお読みいただき大切に保管してください。

ご使用前に



●この商品は煙を感知して警報する機能をもっています。
●この商品は日本消防検定協会の鑑定品です。住宅用防災警報器として設置できます。
●この警報器は、火災による煙を感じて音声で警報を発する機能をもっており、室内の空気の流れなどにより、煙感知部に煙が到達しなければ警報しません。また、火災の発生を未然に防止したり、火災による損害の拡大を防止する装置ではありません。
●火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
●センサーの性質上、火災以外の煙や漏気、殺虫剤、スプレー、結露、砂、ホコリ、虫などで警報する場合があります。殺虫剤(くん煙式、加熱蒸散式も含む)を使用する前に必ず「10. 噴霧式殺虫剤を使用するときは」をお読みください。

お願い

●この商品は、法律(消防法9条2)で住宅への設置および維持について義務付けられています。お客さまでの維持管理をお願いします。
●この商品は、煙感知部の異常や電池切れを検出して自動的に警告する機能をもっています。警告音やランプの点滅にご注意ください。(「5. お知らせ機能について」参照)
●維持管理のために、1ヶ月に1回程度、点検を行ってください。また1週間以上留守にされた場合も点検を行ってください。(「7. 定期点検」参照)

1 安全上のご注意

施工前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、右記の表示で区分しています。

警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

警告

- 警報器の取り付け・取り外し時などは、安定した台に乗って作業を行ってください。転倒してケガをするおそれがあります。
- 警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。故障や誤作動の原因となります。

注意

専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。

2 施工される方へのお願い

- お客さまにこの火災警報器を安全に正しくご使用いただくため、取付説明書をよくお読みになり、指定された取り付けを行ってください。
- お客さまのご要望される設置場所、火災警報器の種類が各市町村の火災予防条例に適合しない場合は、お客さまに各市町村の火災予防条例に適合するための設置場所、火災警報器の種類を説明の上、火災予防条例に適合する設置場所、適合する種類の火災警報器を設置いただくようにご理解を得てください。
例えば
火災予防条例に定める設置場所に火災警報器を設置しない場合
火災予防条例に定める設置場所で条例に定められていない火災警報器を設置されている場合など
- 取付終了後に、取付説明書にしたがって、動作確認を行ってください。なお、動作不良の場合は交換してください。
- 取付終了後、お客さまへ下記の内容を説明してください。

1. 動作確認結果の説明。
 2. 取扱説明書を必ず読んでいただくこと、取扱説明書は「警報器登録票」または「リース契約書」とともに保管していただくことのお願い。
 3. 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - ① 火災警報時のとるべき処置の説明。
 - ② 動作確認を行い、点検方法、点検頻度 (1 ヶ月に 1 回程度および 1 週間以上留守にされた場合)、およびお客さまにご自身で点検をしていただく必要があることの説明。
 - ③ 電池切れ警告、故障警告が発生する場合。
 - ④ 火災以外で火災警報が発生する場合。
 - ⑤ 火災警報器の移設、分解の禁止。
 4. 保証期間がお買い上げ日から 5 年であること (リース契約時を除く)、交換期限がお買い上げ日から 10 年であることの説明。
 5. リースの場合、リース契約書をご本人または配偶者に記入いただき、リースの内容および解約時についての説明。

3 取付前の確認

3-1 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1 個	取付板…1 個 (本体に取り付けられています)	外部出力信号コネクタ…1 本 (くるびこ・アイルス連動用)	引きひも (点検ツマミ付) …1 本 (本体に取り付けられています)
	専用リチウム電池…1 個	石膏ボードピン…5 本	
	抜け止めカバー…1 個	取付ねじ…2 本	取扱説明書 (保証書付) …1 枚 取付説明書 (本書) …1 枚

別売品
はずれ防止パーツ…1 個

3-2 取付位置の確認

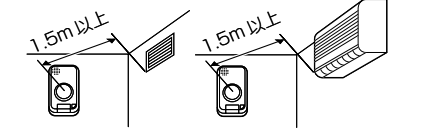
※設置および維持基準は、政省令で定める基準にしたがい、市町村条例で定められています。各市町村によって設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

設置場所の選定は、お客さまとよく相談してお決めください。

正しい取付場所について

- この警報器は、以下のような場所への設置をおすすめします。
居室、寝室、階段、廊下

- 換気口など、空気の吹出口から 1.5 m 以上離してください。



- 壁面に取り付ける場合は、できるかぎりたれ壁やよりから 60cm 以上離してください。

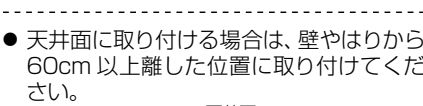


注意

正しい取付位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

- 警報器のスイッチ (点検、警報音停止兼用) が操作しやすい位置に取り付けてください。

- 壁面に取り付ける場合は、煙感知部の中心が天井面下 15cm から 50cm までの範囲にくるように取り付けてください。



- 天井面に取り付ける場合は、壁やよりから 60cm 以上離れた位置に取り付けてください。



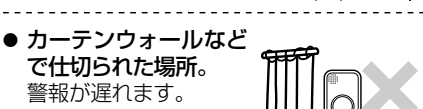
取り付けてはいけない場所について

以下の場所には、警報器を取り付けしないでください。
誤作動や故障、または感知が遅れる原因となります。

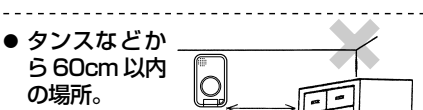
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。感電や電気的故障の原因になります。



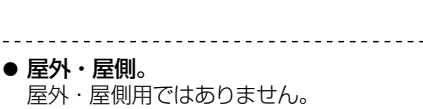
- 火災以外の煙や蒸気がかかる場所、車庫など。



- 温度が 0 ~ + 40℃ の範囲をこえる場所。警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



- カーテンウォールなどで仕切られた場所。警報が遅れます。



- タンスなどから 60cm 以内の場所。

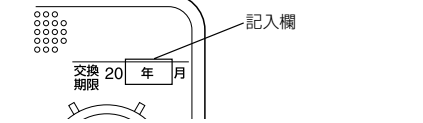


- 屋外・屋側。屋外・屋側用ではありません。

3-3 設置する前に

交換期限の記入

交換期限ラベル
お買い上げ日から 10 年後 (西暦) の同月を記入してください。

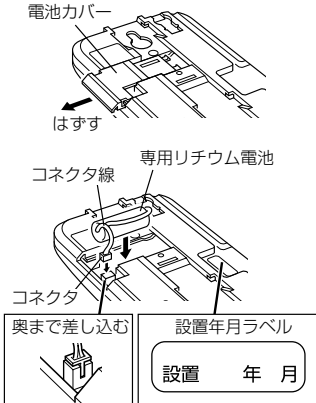


専用リチウム電池の取り付け・設置年月の記入

- 注意**
- コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。コネクタが破損したり、電池がショートする原因になります。
 - 専用リチウム電池の外装フィルムは電池を保護するものです。はがさないでください。

本体裏側の取付板と電池カバーを外して、専用リチウム電池を取り付け、設置年月を記入してください。

- ① 取付板と電池カバーをスライドさせて外す。
- ② 電池を入れて、コネクタを接続する。
※ コネクタには極性があり、逆向きには接続できません。
- ③ コネクタ線を本体内に収納し、電池カバーを元のように取り付ける。
- ④ 設置年月を記入する。



→ 裏面に続く

4 取り付けかた

取付板は本体に取り付けています。
最初に警報器から取付板を取り外してください。

⚠ 注意

取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けないでください。
取付強度を保持するため、石膏ボードピンは根元まで差し込んでください。
万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。

4-1 壁面に取り付ける場合

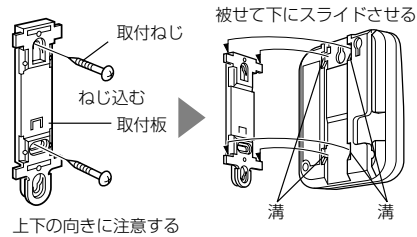
■木質壁などの場合

取付ねじ 2 本で固定することを原則とします。ただし、取付ねじ 2 本での取り付けについてお客さまのご了承を得られない場合は、取付ねじ 1 本での取り付けもできます。

取付ねじ 2 本で壁面に取り付ける場合

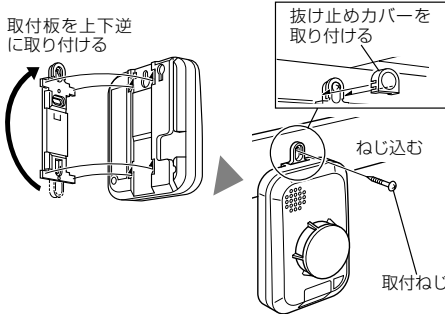
①取付板を、図のように取付ねじ(2 本)で壁面に固定する。

②警報器の背面にある溝(4 箇所)を、取付板に合わせて取り付ける。



取付ねじ 1 本で壁掛け取付をする場合

①取付板を上下逆に取り付ける。
②取付ねじをねじ込み、抜け止め力バーを取り付けて、取付ねじの頭を隠す。

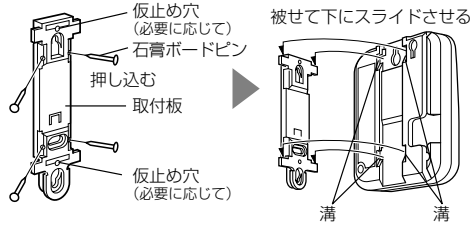


■石膏ボード壁の場合

①取付板を、図のように石膏ボードピン(4 本)で壁面に固定する。

〈確認〉
取付板が、壁面に密着していることを確認してください。
※引きひもを取り外してください。(引きひもを強く引くと、本体が落下するおそれがあるため、引きひもの取り付けは不可。)

②警報器の背面にある溝(4 箇所)を、取付板に合わせて取り付ける。

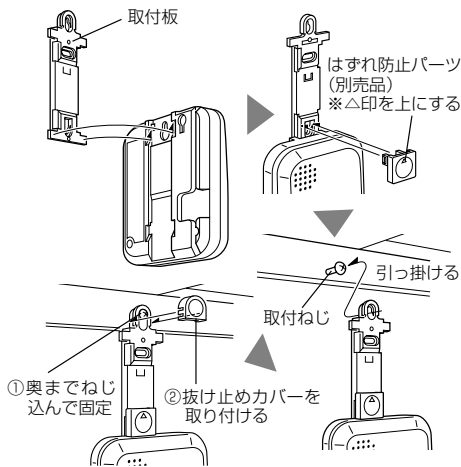


■壁面上端に取り付ける場合(天井際の回り縁などにねじ止めする場合)

①取付板を図のように警報器に取り付け、はすれ防止パーツ(別売品)を取付板に取り付ける。
この方法で取り付けると、天井面から煙感知部の中心までが約 17 cm になります。

②回り縁などに取付ねじを数ミリ残してねじ込み、取付板を引っ掛ける。

③取付ねじを奥までねじ込み、抜け止め力バーを取付板に取り付ける。



4-2 天井面に取り付ける場合

木質天井面や石膏ボードの天井面では、棧が通っている箇所に取り付けてください。

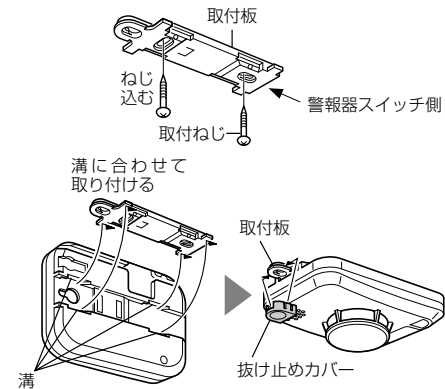
①取付板を、図のように取付ねじ(2 本)で天井面に固定する。

※取付板の方向で警報器の向きが決まります。事前にお客さまへの確認をしてください。

※天井面への取付には、石膏ボードピンを使用しないでください。

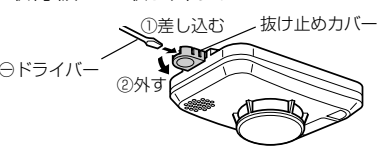
②警報器の背面にある溝(4 箇所)を、取付板に合わせて取り付ける。

③抜け止め力バーを取付板に取り付ける。



■抜け止め力バーのはずしかた

図のように「⊖」ドライバーを使って、取付板から取り外す。



4-3 引きひもの取り外し、長さ調節

警報器を木質壁や壁面上端に取り付けた場合は、お客さまのご要望をお聞きし、引きひもの取り外しまたは長さ調節をしてください。

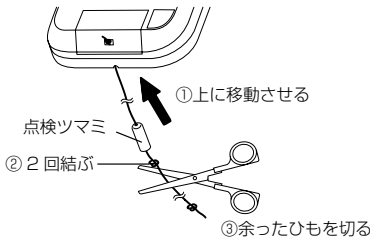
⚠ 警告



警報器を石膏ボード壁または天井面に取り付けた場合は、引きひもを取り外してください。
引きひもを強く引くと、本体が落下し、お客さまがケガをするおそれがあります。

引きひもの長さの調節方法

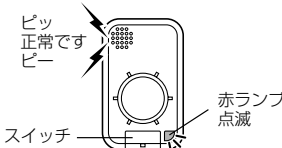
①点検ツマミを上に移動させる。
②適当な長さとなる部分で 2 回結ぶ。
③点検ツマミの先の余ったひもを切る。



動作確認

スイッチを押す(約 1 秒)、または引きひもを引く(約 1 秒)。

「ピッ、正常です。ピー」が 1 回鳴り、赤ランプが 1 回点滅すれば正常です。
外部出力は作動しません。



⚠ 警告



ライターの炎やタバコの煙などを使って、点検を行わないでください。
火災や故障の原因となります。

くるびこ・アイルス※との接続方法と連動確認

警報器裏面の外部出力端子に外部出力信号コネクターを接続します。



※くるびこは大阪ガス(株)、アイルスは大阪ガスセキュリティサービス(株)(OSS)のサービスです。

「けむびこ」との接続には、くるびこまたはアイルスに別途ご加入いただく必要があります。くるびこ・アイルスとの連動により「火災警報信号」を OSS 監視センターへ通報することができます。

- けむびことくるびこ・アイルスの無線送信機との接続は、連動確認が必要です。ので、専門の取付業者にお任せください。
- けむびこがくるびこ・アイルスと連動されている場合は、事前に OSS 監視センターへご連絡いただき、連動確認を実施してください。
- くるびこ・アイルスと連動している場合でも、「故障警告」「電池切れ警告」「けむびこと無線送信機との接続信号線の断線」、および上記の動作確認(約 1 秒押し)は OSS 監視センターに通報されません。

以下の連動確認を必ず実施してください。

① スイッチを約 3 秒間長押しする。または引きひもを約 3 秒間引く。
赤ランプが連続点滅すると同時に、火災警報音「ウーウーカンカンカン、火事です。火事です。」が鳴り、くるびこ・アイルス本体が連動動作した後、OSS 監視センターから電話連絡があります。
電話連絡がない場合は、けむびこの外部出力異常か、信号線の異常またはくるびこ・アイルス本体の異常が考えられます。OSS 監視センターにご連絡ください。

② 約 1 分経過すると、赤ランプが消灯して自動的に終了します。
1 分以内に終了したい場合は、スイッチを押すか引きひもを引くと、赤ランプが消灯して終了します。

くるびこ・アイルス以外の外部機器と接続した場合も上記の連動確認を必ず実施してください。